

# 府中市の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

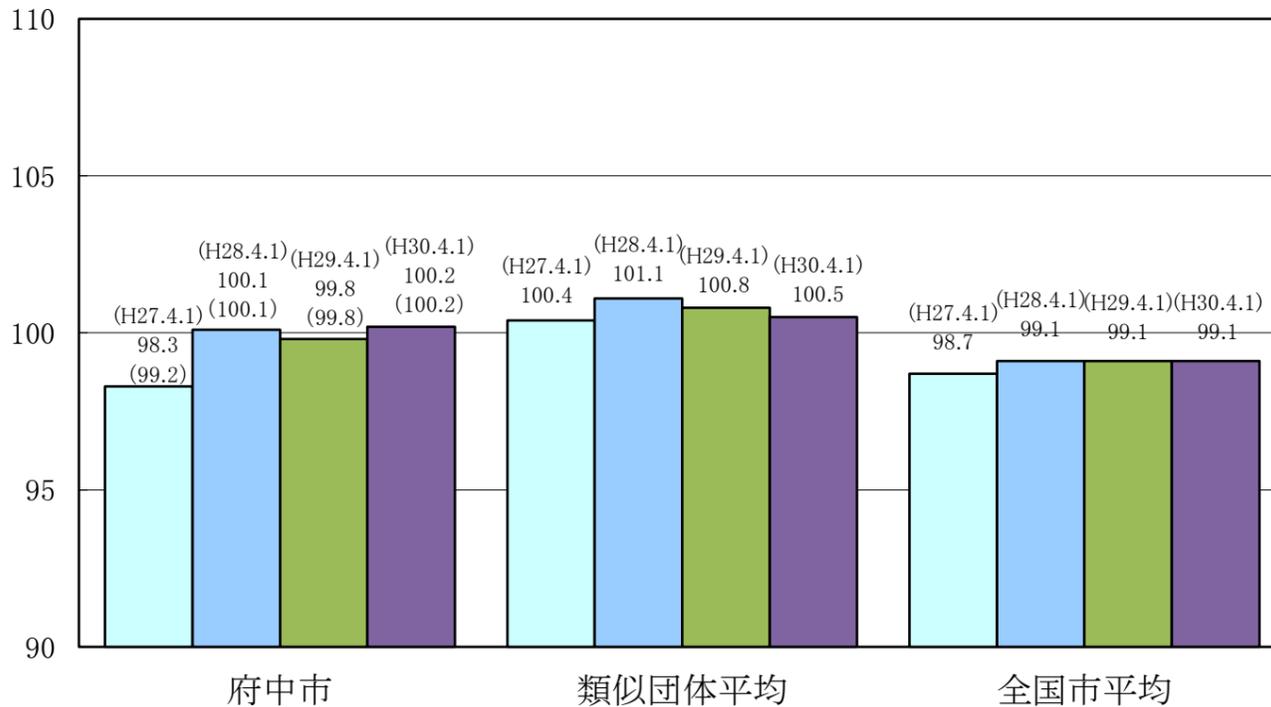
区分	住民基本台帳人口 (30年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 28年度の人件費率
29年度	人 258,654	千円 114,062,612	千円 3,080,565	千円 11,020,056	% 9.7	% 10.4

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
29年度	人 1,225	千円 4,270,588	千円 1,420,472	千円 1,917,413	千円 7,608,473	千円 6,211	千円 6,599

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。  
 2 職員数は、平成29年4月1日現在の人数です。  
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。  
 2 ( ) 書きの数值は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指します。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数です。  
 (補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)  
 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

※ 平成30年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

①平成28年4月に東京都の給料表に準拠した給料表に移行した影響等によるものです。  
 ③給与低額者の退職、給与高額者の割合の増加によるものです。長期的には減少していく見込みです。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされています。

①給料表の見直し

[  実施  未実施 ]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合はその理由））

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日  
（内容）東京都の見直し方法に準じ、平成27年4月1日から単年度で、給料月額平均3%の引下げを実施しました。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）15%  
（実施時期）平成27年4月1日から単年度で実施しました。

（参考）

	平成26年度 の支給割合	平成27年度の支給割合		平成28年度 の支給割合	平成29年度 の支給割合	平成30年度 の支給割合
		4月1日時点	遡及改定後			
国基準による支給割合	12%	13%	14%	15%	15%	15%
府中市の支給割合	12%	15%	15%	15%	15%	15%

③その他の見直し内容

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成30年4月1日現在）

#### ①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
府中市	38.3 歳	296,115 円	411,407 円	363,779 円
東京都	41.5 歳	314,490 円	444,592 円	395,638 円
国	43.5 歳	329,845 円	—	410,940 円
類似団体	41.5 歳	317,123 円	418,929 円	377,574 円

#### ②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
府中市	48.3 歳	74 人	314,773 円	409,627 円	374,142 円	—	—	—	—
うち給食調理員	50.1 歳	29 人	328,131 円	415,188 円	391,151 円	調理士(男女)	41.0 歳	295,600 円	1.40
うち清掃職員	42.8 歳	2 人	302,200 円	490,274 円	365,355 円	廃棄物処理業(男女)	45.8 歳	293,000 円	1.67
その他	47.5 歳	43 人	306,349 円	402,126 円	363,079 円	—	—	—	—
東京都	49.7 歳	1,418 人	292,009 円	391,826 円	361,938 円	—	—	—	—
国	50.7 歳	2,553 人	286,817 円	—	328,637 円	—	—	—	—
類似団体	50.2 歳	116 人	333,314 円	402,727 円	378,013 円	—	—	—	—

区分	参考 年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
府中市	—	—	—
うち給食調理員	6,781,118 円	3,914,500 円	1.73
うち清掃職員	7,558,964 円	4,038,000 円	1.87
その他	6,497,763 円	—	—

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成27～29年の3ヶ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

#### ③教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
府中市	42.6 歳	328,846 円	420,564 円
東京都	40.5 歳	339,718 円	439,954 円
類似団体	40.8 歳	324,122 円	385,007 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成30年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

### (2) 職員の初任給の状況（平成30年4月1日現在）

区分		府中市	東京都	国
一般行政職	大学卒	182,700 円	182,700 円	総合職 183,700 円 一般職 179,200 円
	高校卒	144,800 円	144,600 円	147,100 円
技能労務職	高校卒	170,600 円	142,000 円	—
	中学卒		—	—

(注) 府中市の技能労務職の初任給は、年齢により幅があるため平均額を記載しています。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成30年4月1日現在）

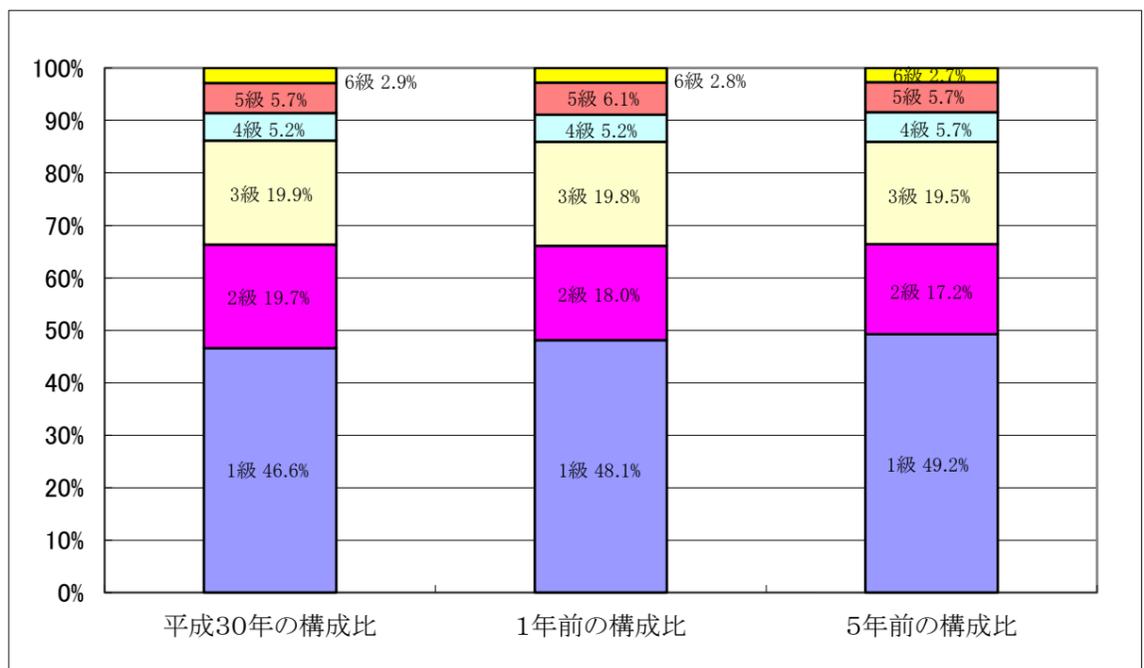
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	259,615 円	347,513 円	373,572 円	425,340 円
技能労務職	高校卒	—	291,200 円	311,214 円	327,533 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

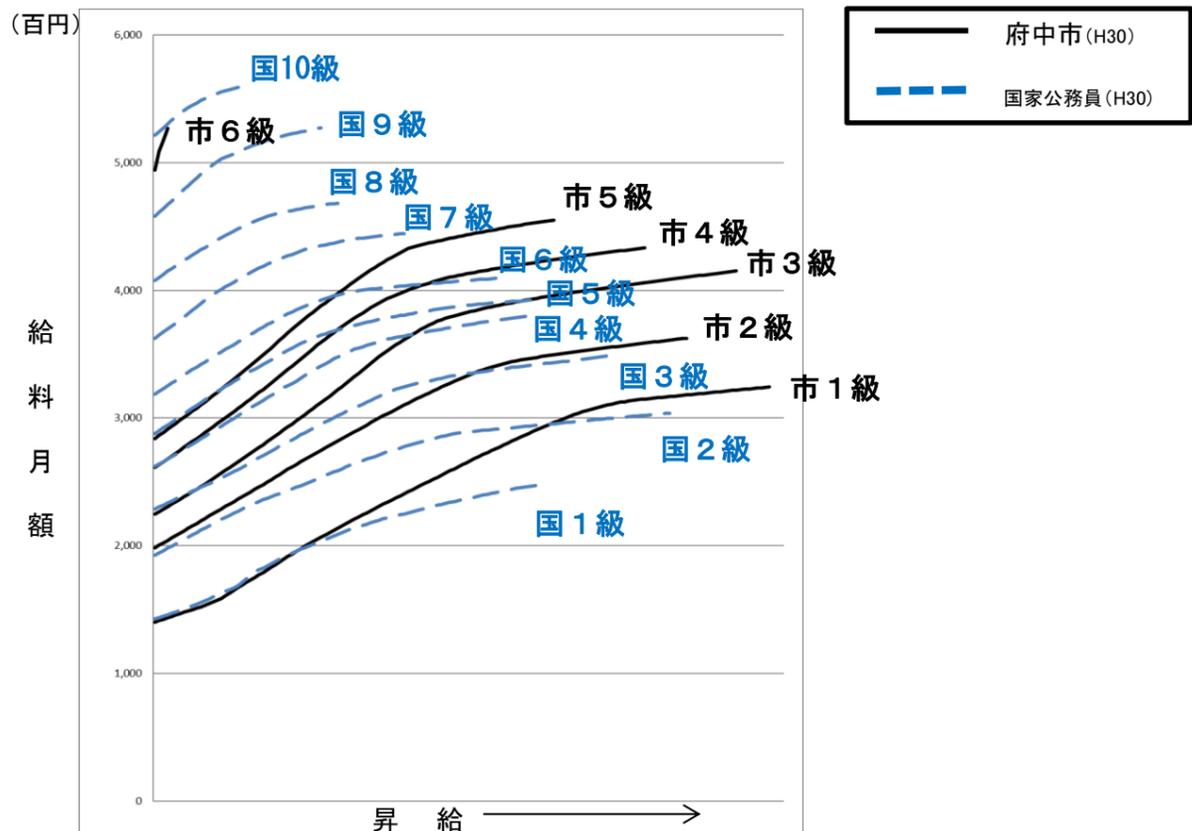
(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

職務の級	基準となる職務	職員数	構成比
6 級	部長又は次長の職務	24 人	2.9 %
5 級	課長の職務	46 人	5.7 %
4 級	課長補佐の職務	42 人	5.2 %
3 級	係長の職務	161 人	19.9 %
2 級	主任の職務	160 人	19.7 %
1 級	定型的な業務を行う職務	378 人	46.6 %

(注) 1 府中市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。  
2 基準となる職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（平成30年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況

平成30年4月2日から平成31年4月1日までの運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ(一律)	△		△	
ロ 人事評価を活用していない				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

府中市	東京都	国
1人当たり平均支給額(29年度) 1,498 千円	1人当たり平均支給額(29年度) 1,836 千円	—
(29年度支給実績) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.90 )月分	(29年度支給実績) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.90 )月分	(29年度支給実績) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.80 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.85 )月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務段階加算 5~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務段階別加算 3~20% ・管理職加算 15~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給実績です。

(2) 勤勉手当への人事評価の活用状況

平成30年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している				
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率				
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)	△		△	
ロ 人事評価を活用していない	○		○	

(3) 退職手当(平成30年4月1日現在)

府中市	国
(支給率) 自己都合 勤続20年 23.0 月分 勤続25年 30.5 月分 勤続35年 43.0 月分 最高限度額 43.0 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (2~20%加算) 1人当たり平均支給額 2,110 千円	(支給率) 自己都合 勤続20年 19.6695 月分 勤続25年 28.0395 月分 勤続35年 39.7575 月分 最高限度額 47.709 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (2~45%加算) 22,340 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成29年度に退職した職員に支給された平均額です。

(4) 地域手当

(平成30年4月1日現在)

支給実績(29年度決算)	716,482 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(29年度決算)	526,438 円		
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
府中市	15 %	1,361 人	15 %

(5) 特殊勤務手当（平成30年4月1日現在）

支給実績(29年度決算)		852 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(29年度決算)		15,784 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(29年度)		3.9 %		
手当の種類(手当数)		7 種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (29年度決算)	左記職員に対する支給単価
伝染病予防消毒手当	伝染病の予防消毒に従事する職員	伝染病の予防消毒	—	日額400円
行旅病者処理手当	行旅病者処理に従事する職員	行旅病者の処理	—	1件当たり2,000円
変死人死体処理手当	変死人死体処理に従事する職員	変死人死体の処理	9 千円	1件当たり3,000円
清掃作業手当	道路及び下水道清掃作業に従事する職員	道路及び下水道清掃作業	275 千円	日額250円
生活保護法施行のための家庭訪問手当	生活保護法施行のための家庭訪問に従事する職員及びその指導監督に当たる職員	家庭訪問及びその指導監督	569 千円	日額200円
高所作業手当	高所作業に従事する職員	高所作業	—	日額200円
災害発生時緊急出動対策作業手当	災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合において、緊急に出動し、対策作業に従事する職員	災害発生時又は発生するおそれがある場合における、緊急出動及び対策作業	—	1件当たり1,500円

(6) 時間外勤務手当

支給実績(29年度決算)	426,186 千円
職員1人当たり平均支給年額(29年度決算)	344 千円
支給実績(28年度決算)	436,580 千円
職員1人当たり平均支給年額(28年度決算)	357 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(29年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含みます。

(7) その他の手当（平成30年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (29年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (29年度決算)
扶養手当	配偶者6,000円、子9,000円、そのほかの親族6,000円、16歳から22歳の子には4,000円加算(部長職を除く)	異なる	支給額	87,860 千円	228,207 円
住居手当	年度末時点で35歳未満かつ、月額15,000円以上の家賃を支払っている世帯主15,000円(管理職を除く)	異なる	支給要件 支給額	35,577 千円	163,197 円
通勤手当	交通機関利用者は6か月定期などの価格の総額(1か月当たり限度額55,000円) 自転車2,000円 バイクなど2,300円	異なる	使用距離 区分	79,305 千円	72,359 円
管理職手当	課長補佐職以上を対象 課長補佐級:73,900円 課長級:92,600円 次長級:106,500円 部長級:115,000円	異なる	支給額	135,891 千円	1,070,004 円

5 特別職の報酬等の状況（平成30年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料	市 長	1,080,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額 1,130,000 円 / 792,000 円	
	副 市 長	930,000 円	930,000 円 / 675,800 円	
	教 育 長	830,000 円	- 円 / - 円	
	常 勤 監 査 委 員	680,000 円	- 円 / - 円	
報 酬	議 長	650,000 円	724,000 円 / 463,000 円	
	副 議 長	570,000 円	660,000 円 / 420,000 円	
	常任委員会委員長	560,000 円	- 円 / - 円	
	議 員	550,000 円	606,000 円 / 400,000 円	
期 末 手 当	市 長 副 市 長 教 育 長 常 勤 監 査 委 員	(29年度支給実績) 4.50 月分		
	議 長 副 議 長 常任委員会委員長 議 員	(29年度支給実績) 4.50 月分		
退 職 手 当		(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	市 長	108万円×在職年数×3.5	15,120,000円	任期毎
	副 市 長	93万円×在職年数×3.0	11,160,000円	任期毎
	教 育 長	83万円×在職年数×2.0	4,980,000円	任期毎
	常 勤 監 査 委 員	68万円×在職年数×2.0	5,440,000円	任期毎
	備 考			

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、平成30年4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（市長、副市長及び常勤監査委員は4年＝48月、教育長は3年＝36月）勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

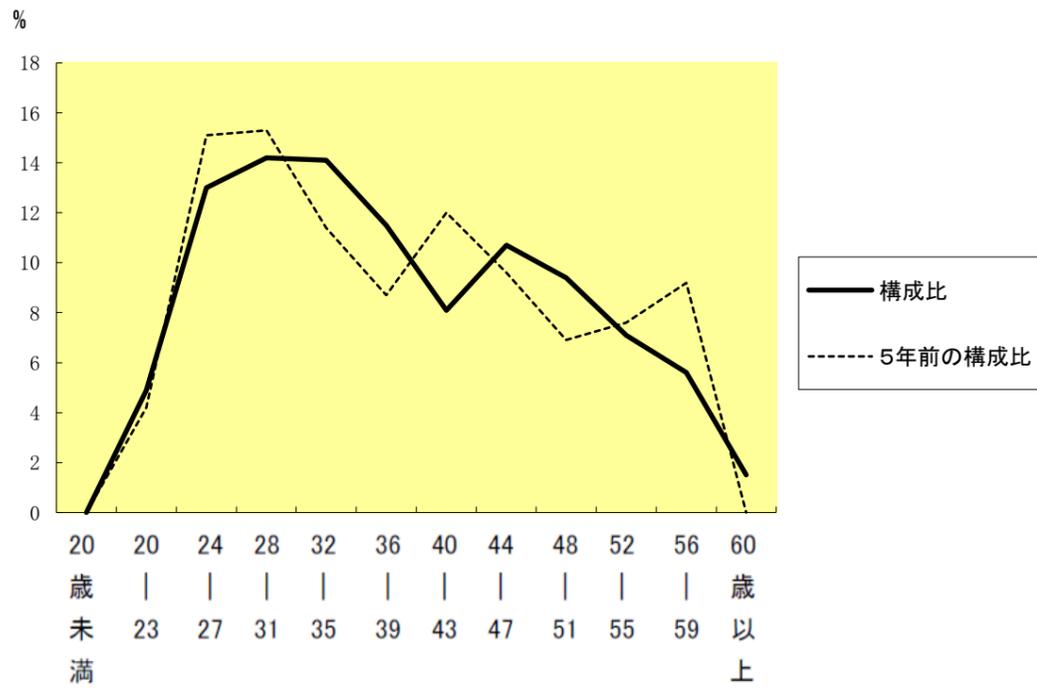
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成29年	平成30年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	13	13	0	
		総務企画	244	246	2	政策部門職員増員ほか
		税 務	69	69	0	
		民 生	503	495	△8	保育所の民間委託化による減員ほか
		衛 生	85	88	3	健康推進部門職員増員ほか
		労 働	1	1	0	
		農林水産	4	5	1	経済観光部門職員増員
		商 工	10	10	0	
	土 木	108	107	△1	事務移管による減員ほか	
		小 計	1,037	1,034	△3	<参考> 人口10,000人当たり職員数 39.98 人 (類似団体の人口10,000人当たり職員数 43.67 人)
	教育部門	188	183	△5	給食センターにおける調理業務などの委託化による減員ほか	
	小 計	1,225	1,217	△8	<参考> 人口10,000人当たり職員数 47.05 人 (類似団体の人口10,000人当たり職員数 60.23 人)	
公 営 会 計 業 部 等 門	下 水 道	14	14	0		
	そ の 他	71	73	2	競走事業部門職員増員	
	小 計	85	87	2		
合 計		1,310 [ 1,602 ]	1,304 [ 1,602 ]	△6 [ 0 ]	<参考> 人口10,000人当たり職員数 50.41 人	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 [ ]内は、条例定数の合計です。

(2)年齢別職員構成の状況（平成30年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	0人	64人	169人	185人	184人	150人	106人	139人	122人	92人	73人	20人	1,304人

(3)職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	25年	26年	27年	28年	29年	30年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	965	981	983	1,007	1,037	1,034	69 ( 7.2%)
教育	208	193	191	190	188	183	△25 (△12.0%)
普通会計計	1,173	1,174	1,174	1,197	1,225	1,217	44 ( 3.8%)
公営企業等会計計	84	84	84	85	85	87	3 ( 3.6%)
総合計	1,257	1,258	1,258	1,282	1,310	1,304	47 ( 3.7%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数です。